

稲穂と育つ子どもの心 米作り・野菜作りで実りの喜びを

市では農業体験を通して、子どもたちの豊かな心を育てる体験学習事業「米っくくらぶ」を実施しています。農業体験は食に対するありがたさ、勤労の喜びを知り、協力し合う心や自然を観察する力を養う生きた教材です。

☎38339410 青少年育成課

体験学習事業
「米っくくらぶ」とは

大野町4丁目にある

「小川再生親子ふれあい農園」で

行われる農業体験活動で

田植えから稲刈り・脱穀など

稲作に関わるさまざまな

作業や野菜づくりを親子で行います。

活動は地元協力者、JAの職員

元学校の教員などに関わりながら

4月から11月まで

月2回程度行われます。

市内に残された田園風景

市内では田んぼも少なくなりましたが、希少な田園風景を残し、環境学習や憩いの場として活用しています。

米っくくらぶの1年

参加者説明会

代かき



代かき



4月22日(土)

耕した田んぼに水を入れ、土と混ぜながら平らにして行きます。田んぼに入るのが初めての家族も多く、歩くのも大変です。協力して、稲がむらなく成長できる環境が整いました。

田植え



インタビュー



29年度に参加した小倉さん一家

初めて田んぼに入ったときは歩くのも大変でした。でも、わからないことがあっても周りの人がいろいろと教えてくれたので楽しくできました。昆虫や植物の観察もできて、学校で習うだけではない、生きた実体験として残ったと感じています。

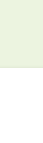
田植え



5月6日(土)

田植えは手作業で行います。苗は3本ずつ、流れないように慎重に植えていきます。大変な作業ですが、粘り強く作業をやり遂げました。

田んぼ取り・比中教室



防鳥ネットはり



昆虫教室



6月10日(土)

あつドジョウだ。田んぼにはさまざまな生物との出会いがあり、子どもたちの自然を観察する力を育んでくれます。この日もイナゴやバッタの幼虫、小川ではドジョウなど多くの生き物が見つかりました。

インタビュー



ボランティアとして参加している松丸さん

収穫祭の様子で驚いたのですが、子どもたちが自然と片付けまでしっかりやります。「私たちがしっかり育てたんだぞ」と道具まで大切にしているのですね。こういった物や食べ物を大切にする気持ちを、日常の中でも持って欲しいですね。

はぜ作り



稲刈り・はぜかけ

インタビュー



29年度に参加した柏熊さん一家

一つのことを、大人も子どもも一緒に協力しながらやり遂げるというのが貴重な経験でした。スポーツや遊びとは違った関わり方を親子でできたと感じました。みんなで作り上げた作物はとてもおいしかったです。

稲刈り・はぜかけ



9月9日(土)

いよいよ実った稲の刈り取りです。一株ごとに鎌で刈り取り、わらで縛って束ねます。束ねた稲は、はぜに掛け天日に干して十分に乾かします。

収穫感謝祭



収穫感謝祭



11月18日(土)

育てたお米と野菜を使ってカレーライスや豚汁を作りました。苦労して作ったお米はおいしさも格別。収穫の喜びを分かち合うひとときです。

2018年、体験学習事業の参加家族を募集します。

【場】小川再生親子ふれあい農園内(市川大野高等学校園北側)
【人】市内在住の小学生以上とその家族(抽選で170人)
【申込】往復はがきに「米っくくらぶ参加希望」と住所、電話番号、メールアドレス、参加者全員の氏名(ふりがな・性別・学校名・新学年を書き、3月9日(金)

必着で青少年育成課 ☎2720023 南八幡1の17の15
【参加者説明会】4月7日(土)午前中に参加者説明会を行います。
参加の可否及び参加者説明会の案内を3月31日(土)までに通知します。
☎38339410 青少年育成課

